

令和8年度 学校経営方針

大田区立山王小学校長 窪寺雄一郎

基本理念

100年の歴史と伝統で育まれた山王小学校の校風・教育文化・精神を継承するとともに、大田区教育委員会「おおた教育ビジョン」の理念「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」を踏まえ、予測困難な社会の変化に創造力と柔軟性をもって主体的に対応できる「生きる力」を育むための教育活動を推進する。地域・保護者と連携・協働してともに歩み、開かれた学校づくりを通して、保護者・地域から信頼され、こども、保護者、地域、教職員が愛校心と誇りをもつことができる学校を目指します。

教育目標

人権・生命尊重の精神を基調とし、自ら学び考え行動する意欲と態度をもち、心身ともに健康でたくましく、豊かな知性と感性に富み、郷土を愛し地域に貢献する心と国際感覚をもち、よりよい未来を創り出そうとする人間性豊かな児童を育成する。

- 心豊かで思いやりのある子（徳）
- よく考え進んで学ぶ子（知）
- 丈夫な体でやりぬく子（体）

目指す学校像

- こどもが安心して自分を表現でき、目標をもって楽しく学べる学校
- 教職員が情熱と使命感をもち、互いに高め合い、ともにやりがいと貢献を実感できる学校
- 地域・保護者が親しみと誇りを感じ、地域の教育拠点として、ともにこどもたちを育む学校

意欲あふれる学びの場や学びの機会の構築

教員は教材研究等の準備を行い、タブレットの活用や協働的な学びのある授業展開を工夫し、分かった、もっとやりたいと児童が意欲的に取り組める授業を創造する。教員も児童も積極的に学びにかかわりあい、意欲あふれる学びの場や学びの機会をつくる。また、教員は、教育活動全般において、児童が豊かな人間関係を構築したり、貢献や活躍したりする場を意図的に設定することで、活力ある教育活動を行う。

知・徳・体の調和のとれた教育活動の推進

児童一人一人の能力を最大限に発揮させるため、児童一人一人に応じた指導を適切に行い、目標に向かってくじけず、やり遂げようとする意欲や態度を育てる。学力、人間力、健康・体力づくりにおいて、自ら考え行動し、他者と協働しながら、新たな価値を生み出し未来を創り出していく力を育成する。家庭（保護者）・地域との連携のもと、知・徳・体のバランスの取れた教育活動を実践し、児童が努力した過程を承認・称賛・評価することで、児童が充実感や達成感、自己肯定感を得られるようにする。

児童一人一人に寄り添う教育の推進

日々の授業と学級経営が学校生活の基本であり、規律が保たれ児童にとって居心地の良い学級づくりを行う。そのため、学級・学年担任、専科、特別支援員等、多くの教職員の目で児童を見守り、児童一人一人のよさや特性をとらえたり、児童が抱える困り感、悩み等の課題解決を図ったりする。人間関係が健全に機能し、互いに助け合い、支え合うことのできる学級で、すべての児童が安心して学び、心身を鍛え学校生活を楽しく送ることができるようにする。

学力向上

- 基礎学力の習得と活用及び思考力、判断力、表現力等の育成
 - ・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる。それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- 「主体的・対話的で深い学び」
 - ・主体的：学習の見通しをもち、自分から進んで課題設定や課題解決（自分の考えをもつ）をする。
 - ・対話的：ペアやグループで対話をし、自分の考えを相手に説明したり、相手の話を聞き、自分にはない違った考えを認め、自分の考えを修正したりする。
 - ・深い学び：相手の考えを参考にしながら自分の考えを再構築するとともに、次の課題を設定したり、「もっと調べたい」という意欲をもったりする。
- 算数習熟度別少人数指導・補習教室
- 家庭学習の定着 目安の時間…学年×10分、習慣化 読書
- 外国語及び外国語活動
 - ・年間70時間（5・6年）、35時間（3・4年）
 - 25時間（1・2年）ALT
 - ・英語カフェ（ALTとの交流）
- 大田区学習効果測定
 - ・国語、社会、算数、理科、英語（前学年の学習内容）
- 大田区小学校漢字検定
 - ・年間1回実施（2月） 各級8割で合格
- タブレット等ICT機器の活用
- 教科「おおたの未来づくり」
 - ・5・6年生で実施【ものづくり】【地域創生】
 - ・「どんな人が」「どうなる」理想の姿 →「何をするのか」
 - ・未来を創り出すための創造的な資質・能力を育成する。

豊かな心

- 児童理解に基づいた教育活動を推進し、教師と児童との信頼関係や児童相互の支えあう人間関係を築く。
- 人権教育
 - ・豊かな体験を通して生命の尊さを知り、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるこどもを育む。
 - ・人権・生命尊重週間
- 道徳教育
 - ・規範意識の向上（豊かな人間性、社会的な規範の遵守等）
 - ・道徳授業地区公開講座（10月）いのちの授業（6年）
- たてわり班活動（異学年交流）
- 運動会（5月）、音楽会（11月）
- 元氣祭り（12月）
- 山王小いじめ防止基本方針
 - ・いじめの早期発見（いじめアンケート年3回実施）早期対応（解決）
- スクールカウンセラー
 - ・火曜日、木曜日（面談予約は電話あるいは来校）
 - ・5年全児童との面談、相談しやすい体制づくり
- メンタルヘルスチェック
 - ・子どもの心サポート月間（6月・11月・2月）
 - ・スクールカウンセラー、養護教諭、担任との面談
- 山王小学校 SNS ルール
- 学級集団調査（WEBQUの活用）
 - ・学級集団の状況把握、いじめの発見、適切な改善策の構築）

体力向上・健康

- 体力テスト
 - ・6月実施
 - ・長座体前屈、反復横跳び、上体起こし、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、50m走、握力、20mシャトルラン（8種目）
- 大田区小学生駅伝大会（12月5日 土曜）
 - ・5・6年男女各4名、計16名 選出
- 体育朝会
- 早寝・早起き・朝ごはん月間（5・10月）
 - ・早寝・早起き・朝ごはんカードの活用
 - ・振り返り欄（児童・保護者）
- 歯の健康
- 夏季水泳教室（7月21日～7月31日 9日間）
- 持久走月間
 - ・体育授業に毎時間5分程度の走る時間を設定する。）
- 運動タイム（月1回 学年で実施）
- 山王オリンピック（ドッジボール大会等）
- 体育・健康教育授業地区公開講座
- 薬物乱用防止教室（6年）
- 定期健康診断
- 発育測定

教育・学習環境の充実

- 特別支援教室（サポートルーム）
 - ・発達の特性に応じた支援（こどもの困り感の軽減）
- 危機管理と安全確保
 - ・児童の安全確保については常に考えられる手だてを全て尽くし、可能なかぎり保護者に情報を発信する。
 - ・安心・安全メールへの登録（目標：全家庭）
 - ・引き取り訓練
 - ・セーフティ教室
 - ・交通安全教室
- 学校公開（6月・10月・2月）
- 夏休み山王わくわくスクール
 - ・地域・保護者・外部団体等による講座を開設。（体験的学び）
- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
 - ・学校と地域や保護者の方々が、ともに知恵を出し合い、学校運営に必要な意見を反映する仕組み
- 地域学校協働本部
 - ・「スクールサポートさんのう」
 - ・コーディネーターを中心に、ボランティアを募り、学習支援や環境整備支援を充実させる。
- PTA・おやじの会・地域行事への参加
 - ・学校・家庭・地域との連携をより深める場
 - ・ガーデンパーティー、ハッピー大作戦、緑陰夏祭り、ドッジボール大会、かけっこ教室、こども相撲大会、等